

## お知らせ

### 過去(2000年～2005年)に当院で胃がん、大腸がんの手術を受けられた患者さんへ

今回我々は、「消化器癌（胃癌、大腸癌）の治療効果を予測する因子についての、病理組織を用いた検討(消化器癌における転写因子NF $\kappa$ Bの発現意義に関する検討)」と題する臨床研究を行います。対象となる患者さんは、2000年から2005年に川崎医科大学消化器外科で胃がん、大腸がんの手術を受けられ、手術を受ける際に「手術で採取された病理材料の取り扱いと医学教育・研究使用に関する説明・同意書」に同意を頂いている方です。

この臨床研究に関する検査は、手術で取り出された胃がん、大腸がんの腫瘍組織を用いて行われます。術後の病理診断が終了した後、保管検体を使用して、がん組織内におけるNF $\kappa$ Bの活性化を検索します。その結果は、がん細胞が進行するメカニズムの一部を明らかにし、がんの予後因子を解明することを目的としております。

この臨床研究では、当院で保管されている患者さんのカルテ情報、保管検体が用いられますが、この研究結果が、検討させていただいた患者さん御自身の診断および治療法の選択に新たに使われることはありません。

この臨床研究では、当院で保管されている患者さんのカルテ情報、保管検体を使用させていただきますので、試験の化学的妥当性と倫理性を当病院の倫理審査委員会で慎重に審査され、承認を受けています。全体で200名前後の患者さんのご協力をいただく予定です。

この臨床研究の結果は、学会や学術雑誌での発表等に使われます。しかし、どのような場合でも患者さんのお名前などの個人情報、当院外へ漏れたり公表されることはありません。

この臨床研究の対象になる患者さんは、カルテ情報、保管検体の使用を承諾して頂きたく存じます。(承諾される場合はご連絡不要です)。承諾されない場合は下記の研究担当者にご連絡をお願い致します。なお、承諾されない場合でも、今後当院で受ける診療・治療に変更はなく、一切の不利益を受けることはありません。また、検査、薬剤等の費用負担や当院からの謝礼、ご本人への直接的な利益もありませんのでご了承ください。

研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

この臨床研究に関して、具体的な研究内容や本件に関して何かご不明な点などがありましたら、いつでもご遠慮なく下記の試験相談窓口にご本目談ください。

連絡先: . . . . .

病 院 名	: 川崎医科大学附属病院
病院所在地	: 〒701-0192 岡山県倉敷市松島577
病院電話番号	: 086-462-1111 (内線44483)
電子メール	: shouge@med.kawasaki-m.ac.jp
主任研究者	: 川崎医科大学 消化器外科学 平井 敏弘